

平成 30 年度第 12 回(第 185 回)隠岐の島町教育委員会会議録

1. 開催日時 平成 31 年 2 月 28 日午後 1 時 30 分
2. 開催場所 隠岐の島町教育委員会 会議室
3. 出席委員 教育長 村尾 秀信
教育委員 野津 幸恵
教育委員 嶽野 慶子
教育委員 山下 豊範
4. 欠席委員 教育委員 大津 義文
5. その他の出席者 総務学校教育課長 池田 茂良
社会教育課長 吉田 隆(常任委員会のため途中出席)
中央公民館長 高梨 勇光(常任委員会のため途中出席)
総務学校教育課長補佐 村上 静夫
6. 開会宣言 事務局職員が出席者の確認をした後、教育長は開会を宣言した。
7. 教育長報告要旨 教育長は前回の教育委員会の会議から本日までの主な事項を報告した。
－報告要旨－
 - 2 月 20 日、関西学院大学の教育学部の先生が来庁され、教育課題に関するフィールドワークを隠岐の島町で実施されるということでお話があった。
 - 2 月 23 日、山城講演会が隠岐島文化会館で開催された。山城研究の第一人者である滋賀県立大学の中井教授にご講演いただいた。
 - 2 月 26 日、27 日、今年度各種教育活動において優秀な成績を収めた児童生徒の表彰を各校で行った。
－質疑応答－
 - なし
8. 議 事
【議 第 3 号】 「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」報告書について
 - 数名の事務局職員が会議の途中から出席のため、議第 3 号を先に審議することとした。「『教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価』報告書について」について、事務局職員の説明の後、審議した。
－説明要旨－
(総務学校教育課長補佐) 事前にお配りした報告書について、教育委員の皆さまにいただいた意見

を取りまとめ、報告書の各事業の課題及び評価に記載した。報告書について、修正を要する部分等ありましたらご意見をいただきたい。

－質疑応答－

(嶽野教育委員) 報告書の8ページ「学校図書充実事業」に関する課題として、「すべての学校への学校司書の配置が望ましい。」とあるが、これについては、現在は達成されているのではないか。

(総務学校教育課長) 平成30年度においては中学校でフルタイム、小学校は5時間の勤務ではあるがすべての学校に学校司書を配置している。

(野津委員) 16ページと19ページの修学旅行に関する評価について、経費削減のため小規模校などで複数の学校が一緒に実施すればよいのではないかという意見があるが、これは、確かに経費削減にはつながるかもしれないがそれぞれの学校に修学旅行のねらいがある。複数の学校が合同で実施することを最優先するのではなく、それぞれの目的をしっかりと持ったうえで、管理職同士の連携を大事にしながら実施していただきたい。

(総務学校教育課長) 15ページの同じ修学旅行に関する評価について、「修学旅行費の補助は、保護者の負担軽減につながっている。」とあるが、例えばバス1台を借りた時に、大規模校と小規模校で保護者の負担額の差額が最大で約1万5千円あった。これについては、学校及び保護者からの要望があり、平成31年度より対応したいと考えている。今回の評価とは直接関係がないと思われるが、ご承知おきいただきたい。

(山下委員) 修学旅行について、学校と教育委員会側と保護者側の考え方は異なっており、実際に旅行の延長というように保護者は捉えがちであり、学校の目的を保護者に説明することも必要ではないかと考える。保護者の負担額に関する意見もあると思うが、修学旅行の意義について保護者に理解いただくべきではないかと考える。

(野津委員) 計画を立てる前の段階で保護者にどのような修学旅行を考えているのか、学校によって保護者の負担額が異なる理由について説明することが重要であると考えます。

(村尾教育長) 自身が校長をつとめていたときも修学旅行の意義や内容、安全管理面については丁寧にお伝えしていたが、お金に関することはあまりしていなかったように思う。ご意見いただきましたとおり、修学旅行の意義や経費に関わる部分、また、他の学校との比較についてもつぶさにお伝えする必要があると考えます。

(嶽野委員) 学校給食センター管理運営事業について、ふるさと給食は、現在、ひと月に一度のみの提供であるが、食材は高価なものでもなくとも良いものがあるので、活用してふるさと給食の提供を増やしてみてもどうか。

(総務学校教育課長) ふるさと給食以外の日についても地元の食材は使用している。地元の食材の使用を考えたとき、まず1200食分の数量を揃える必要がある。また、食材の大きさが不揃いであること、形が悪すぎるといったことは調理業務に悪影響を及ぼす。これらをすべてクリアできる提供元を探すとなると、現状、隠岐の島町内では難しい。100パーセント地元食材なのはお米のみである。

(嶽野委員) 同じ学校給食センター管理運営事業における課題として、調理業務を民間に委託し、大半の調理員を地元で雇用しているが、町内では高齢化や人手不足が深刻になってきている。運営において長期的な視点が必要と考えるが、現状、職員に不足は生じていないか。

(総務学校教育課長) 調理業務に関する職員は不足している状況にある。委託業者と協議をしながら、職員の確保のため取り組んでいる。

(村尾教育長) 人材確保と後継者育成が本町の共通課題となっている。一般行政の方も雇用促進協議会を立ち上げて、取り組みの強化を図っているところである。引き続き全体的な課題として取り組んでいきたいこととして共有している。

(総務学校教育課長) 委託料の大半は従業員の人件費であるがために委託料が安くなると従業員の人件費が低くなる。委託料もある程度の金額を確保しなければ、委託先は従業員の確保が難しくなるということを委託業者から伺っている。

(村尾教育長) 点検評価の報告書については、お伺いした通り意見集約ができたと思う。この後は教育長あずかりということで、文言の整理等を行ったうえで議会に報告することとしたい。

－ 審議結果 －

- 審議の後、全員の挙手により原案に異議がないことを議決した。

【議 第 1 号】 平成 31 年度隠岐の島町一般会計補正予算(第 5 号)について

- 「平成 31 年度隠岐の島町一般会計当初予算について」について、事務局職員の説明の後、審議した。

－ 説明要旨 －

(総務学校教育課長) 一般会計補正予算第 5 号については、来週から開催される平成 31 年第 1 回隠岐の島町議会定例会で提案される議案となる。この議案については町長より、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づき意見を求めたいのでお願いしたい。

－ 質疑応答 －

(村尾教育長) 歴史文化保存活用団体活動費補助金について、現在活動している隠岐の建造物研究会の活動内容について伺いたい。

(社会教育課長) 古民家など本町に残る古い建物を研究するというので、現在 6 名で活動されている。

(嶽野委員) 有木小学校の大規模改修事業に係る予算だが、なぜこの時期に減額補正をするのか。例えば 12 月など、もう少し早い時期に補正しなかったのはなぜか。

(総務学校教育課長) 当該事業については平成 30 年 4 月 20 日に不採択として通知があり、その時点で補正することもできたが、学校施設環境改善交付金については補正の都度、何らかの措置があるため、国に要望を出してきた。平成 31 年度も予算計上しているが、国の事業として採択されるかが不確定であるため、補助金が確保できた際には繰越事業とすることも検討していたため補正がこの時期になった。

－ 審議結果 －

- 審議の後、全員の挙手により原案に異議がないことを議決した。

【議 第 2 号】 平成 31 年度隠岐の島町一般会計当初予算について

- 「平成 31 年度隠岐の島町一般会計当初予算について」について、事務局職員の説明の後、審議した。

－ 質疑応答 －

- (嶽野委員) 中学校一般管理運営事業のなかで、五箇中学校ペレットボイラー保守料が約 100 万円計上されているが、これは今後毎年必要となるものか伺いたい。
- (総務学校教育課長補佐) 今年度施行した業者が設備の検査に係る資格を今年度取得される見込みだが、これに伴い来年度から点検作業に関わる経費及び木質ペレットの灰出しを含めた保守料が毎年必要となる。また、メーカーに電話回線を使用したモニタリングを実施してもらう経費についてもあわせて保守料として計上している。この設備を稼働している限りは毎年同程度の経費が発生するものと思われる。
- (嶽野委員) 予算とは関係がないかもしれないが、今年五箇中学校でインフルエンザが他の学校より流行した。ペレットボイラーの使用により空気の乾燥が激しいということであるが、インフルエンザの流行に關与していると思われる。これについて加湿器を導入するなど、対策を講じるべきではないか。
- (総務学校教育課長) インフルエンザの流行により休校となったのは五箇小学校と五箇中学校であったかと記憶しているが、両校は暖房機器の条件が異なる。因果関係の有無についてはわからないが、石油を使用した暖房機の場合、燃料に水分が含まれているため一定の水蒸気が発生するのに対してペレットストーブは配管の中にお湯があり、それをファンで熱交換するだけであるため空気が乾燥していることは事実である。学校からも同様の報告があり、学校にはバケツを置くなどの加湿のための対策をとってもらうようにした。高額な保守料が必要になるというご意見については、これは稼働時期における約半年間の保守業務委託であり、最初に正常に稼働するのかわを確認してもらうこと、また、週に一度の灰出し作業が必要にある。これらをひっくるめると多少高額になるが致し方ないと考えている。
- (山下委員) 魅力ある学校づくり事業のところで、統括プロデューサー配置事業が新規事業として記載があるが、これは今年度あったものと違いがあるのか。
- (総務学校教育課) 統括プロデューサー配置事業については今年度においても予算計上しているが、職員の配置ができない状況にある。平成 31 年度も募集をしたが応募者がいない状況であるので、職員配置のため人材を探していきたいと考えている。
- (野津委員) 統括プロデューサーという仕事が県立高等学校や小中学校、ひいては町全体の活動を調整するなど、役割が非常に広域的であるため、応募する方からすると大変に感じられるように思う。現在高校でコーディネーターを務めておられる方で、入れ替えのような形で引き受けていただくことも一つの手ではないかと考える。
- (総務学校教育課長) 昨年も皆様から頂戴した意見も含めて、また、県からの紹介などもあり、賃金単価のことも含めて協議をしてきたが結果的にうまくいかなかった。おっしゃられるようにその役割が魅力ある学校づくり事業の核になるため、是非配置をしたいと考えている。
- (野津委員) 教育支援センターである「スマイル」の活動状況が見えないところがある。以前から長い間継続している事業であるが現在どういう状況であるかを伺いたい。
- (教育長) スマイルの活動状況については、平成 30 年度 1 年間の活動状況を改めて報告したいと思う。
- (野津委員) 新規事業で隠岐の島町学校施設長寿命化計画策定業務とあるが、どのような計画であるかを詳しく伺いたい。
- (総務学校教育課長補佐) 今ある施設をいかに低コストで長くもたせるか、今後どのように管理していくのかという計画を作ることになる。策定業務の内容は図面をもとに現地調査を行い、今の学校の状

況を把握した上で、各学校の修繕をどの時期にするのかといった内容を数値による客観的な評価指標でもって計画書を作成していくものと思われる。詳細については、4月以降に発注をし、コンサル業者と打ち合わせを行った後にご報告をしたい。

(総務学校教育課長) 国より自治体が所有する施設の長寿命化計画を作り、適切な維持管理をするよう通達があった。これを実施しなければ施設修繕に関わる補助金の交付が受けられない。

(山下委員) 保健体育活動推進事業の新規事業である隠岐少年武道大会補助金について、次回からは自主努力による開催をするというのは主催者側の考えという理解でよろしいか。

(社会教育課長) さらに詳しい話をすると、観光課が担当しているコンベンション補助金というものがあるが、これについては活用することになると思う。これに加えてスポンサーを集めるなどの自主努力をして開催してもらうという考えである。人的協力は行う可能性はある。

(山下委員) ホームページを立ち上げて情報発信をしているということで内容を拝見した。単なる武道大会ではなく、隠岐の歴史等を盛り込んだもので非常に面白く感じた。また、十津川村の方も本町にいらっしゃるということで交流事業としても大変良いものと思う。是非成功させていただき、継続を目指してほしいので教育委員会事務局には協力を惜しまないことを期待したい。

(社会教育委員) 我々としても積極的に支援したいと考えている。

(嶽野委員) 大相撲八角部屋隠岐合宿支援補助金については9年目ということで、10年は継続したいという前課長のお気持ちというのは伺っていた。ただ、事業の実施にあたっては成果に関する評価は当然すべきと考えるが、前回の事業の評価についてはどのようなものであったか伺いたい。

(社会教育課長) 今年度の実施については今まで交流したことのない地域である布施地区で交流事業を行った。たくさんの方にお越しいただき、地域の方々もたいへん喜んでいただくと我々は評価している。当然ながら事業の見直しを行わなければならないが、力士のなかには島前の出身者もあり、かつ、島前からも当事業へ支援をいただいているので、来年度については島前で実施というような計画になるかと思われる。

－ 審議結果 －

- 審議の後、全員の挙手により原案に異議がないことを議決した。

9. そ の 他

【平成30年度第13回教育委員会の開催日時について】

- 平成30年度第13回、来月3月の教育委員会の会議については、事務局職員の提案に異議がなく、3月26日火曜日午前9時30分に教育委員会で開催することとした。但し、本日欠席の教育委員に確認をとり、変更を要する場合は改めて連絡をすることとした。

【小中学校入学式の出席予定者について】

- 平成31年度小中学校入学式の出席者について事務局職員が提案を行い、その内容で出席が難しく変更を要する場合は改めて事務局に連絡することとした。

【議事録の確認について】

- 平成30年度第10回教育委員会会議録について、委員全員により確認を行った。

10. 閉 会 宣 言 教育長は閉会を宣言した。

11. 閉 会 日 時 平成 31 年 2 月 28 日 午後 4 時 32 分

12. 会 議 録 作 成 者 総務係 室崎 純平

署名日 平成 31 年 3 月 26 日

隠岐の島町教育委員会 教育長 村尾秀信